

戸田市の環境【概要版】

令和3年版



戸田市環境経済部

第1部 総説



戸田市の概要及び年表を記載しています。

第2部 環境基本計画及び温暖化への取組

市内CO₂排出量(平成30年度) (本編P.33)

実績値 温室効果ガス平成17年度比
26%削減
(H30,市民一人当たり換算)

目標値 温室効果ガス平成17年度比
22%削減
(R2,市民一人当たり換算)

統計データの関係上、平成30年度数値となります。
当計画値は平成28年に改訂された実行計画に基づいて
おります。

とだ環境ネットワーク (本編P.26 ~ P.32)

環境月間

戸田市役所のロビーにて、
団体による活動展示会を
開催しました。



とだ環境フェア

例年秋に開催している環境イベント「とだ環境フェア」
は、新型コロナウイルス感染防止の観点から開催を
中止しました。

環境出前講座

講座メニュー数:13講座
開催実績:2回開催 189人参加

省エネ・再エネ設備への補助制度 (本編P.52 ~ P.55)

市では省エネ・再エネ設備を普及させるため、平成17年度から補助制度を実施しています。

	機器名	設置数	単価(円)	補助金額(円)	備考	概算CO ₂ 削減量(t/年)
市民	太陽光発電	22	35,000/kW(市内)	2,821,200	94.04kW(補助分)	54.99
			30,000/kW(市外)		120.32kW(設置)	
	エコキュート	24	40,000	960,000		11.52
	エネファーム	26	80,000	2,080,000		39.00
	蓄電池	32	30,000/kWh	4,596,000	153.2kWh(補助分) 208.9kWh(設置)	
	HEMS	12	10,000	120,000		1.56
	合計			10,577,200		107.07
事業者	太陽光発電	1	35,000/kW(市内)	119,400	3.98kW(補助分)	1.82
			30,000/kW(市外)		3.98kW(設置)	
	LED照明	5	1,000/個	363,000		
	エコキュート	1	40,000	40,000		0.48
	合計			522,400		2.30

太陽光発電と蓄電池には、補助する出力と容量に上限を設けています。

第3部 緑のまちづくりと自然再生



苗木の無料配布 (本編P.58)

平成26年度より「とだグリーンウェイブ」を実施し、市民や事業者とともに市内緑化の推進に励みました。令和2年度の結果は以下のとおりです。

参加団体	参加者数	場所提供団体数	植樹本数
20団体	77名	0団体	66本



戸田ヶ原自然再生事業 (本編P.61/ P.62)

サクラソウの生育状況

戸田ヶ原サクラソウ園(旧自然再生エリア第1号地)で5,536株のサクラソウが開花しました。



戸田ヶ原自然再生の普及広報

【パネル展示】

戸田ヶ原について戸田市役所、イオンモール北戸田などでパネル展示を実施しました。



【野の草花講座】

秋の野の草花の観察と、葉っぱを使った「たたき染め」体験を実施しました。



戸田ヶ原自然再生事業実施計画(令和3年3月改訂)

サクラソウなどの野生の草花が彩る湿地プロジェクト
キツネやカヤネズミが子育てをする草地プロジェクト
ミドリシジミが舞う林プロジェクト
カワセミが子育てをする水辺プロジェクト
人と自然・人と人との交流プロジェクト
PRの推進

第4部 環境(公害)調査と現況



令和2年度の環境調査の測定結果は以下のとおりです。
過去の測定結果や詳細は本編(P.64～P.131)をご参照ください。

公害苦情件数

騒音:規制対象外の音(トラックの後退警報音や荷積み下ろしの音等)による苦情が多い傾向にあります。
悪臭:天候や風向きなどの影響を受けるため、発生原因の特定が困難なことが多くあります。

	大気	水質	騒音	振動	悪臭	その他	合計
件数	7	0	35	1	20	2	65

大気常時監視測定結果

光化学オキシダント以外の項目については、環境基準()を達成しています。なお、光化学オキシダントは、埼玉県内全域で基準を達成できていません。

「-」は測定していない項目です。

	二酸化硫黄(SO ₂)	二酸化窒素(NO _x)	光化学オキシダント(O ₃)	一酸化炭素(CO)	浮遊粒子状物質(SPM)	微小粒子状物質(PM _{2.5})
砂場局						
早瀬局						
中町局			×			
戸田局			×			
戸田美女木自排局						

環境基準とは、人の健康を保護し生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準のことです。



常時監視測定局位置図

河川水質一覧

河川の水質では、BOD及びDOが環境基準を満たしていない箇所があり、生活排水の流入対策が必要となります。

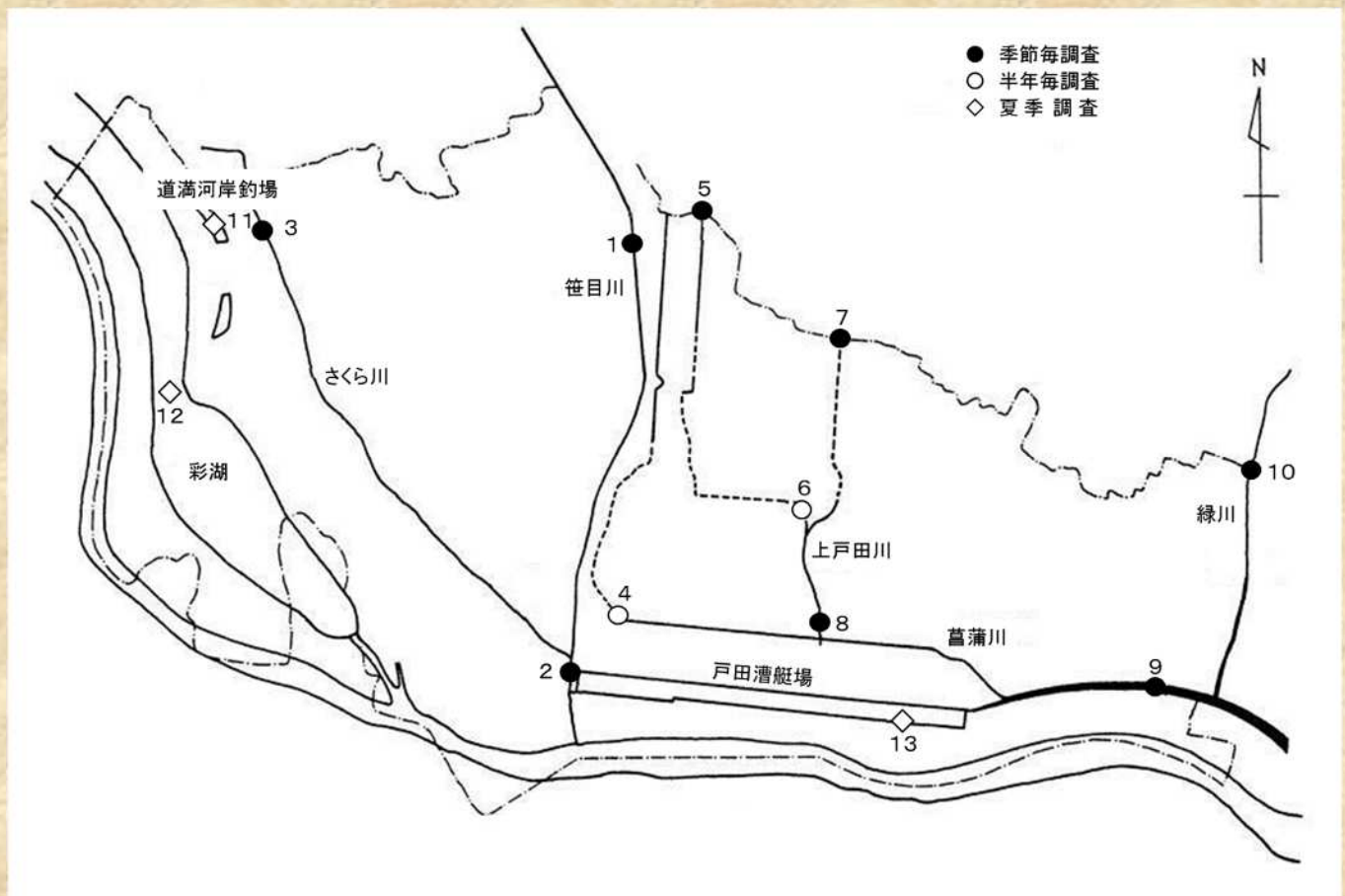
検査場所	BOD (mg/L)	SS (mg/L)	DO (mg/L)
1 笹目川:池ノ尻橋	1.8	7.0	7.0
2 笹目川:富士見橋	1.9	9.0	5.7
3 さくら川:神明橋	1.6	6.0	8.0
5 SY10水路: 県工業用水道中継ポンプ場 南側	10.7	9.0	3.3
7 上戸田川:富士見球場脇	6.7	6.0	5.6
8 上戸田川:浅間橋	7.1	10.0	5.2
9 菖蒲川:菖蒲橋	2.9	5.0	5.7
10 緑川:鬼澤橋	1.1	5.0	9.7

BOD(生物化学的酸素要求量):環境基準5mg/L以下
河川水や事業場排水の汚濁を表す指標で、水中有機物
質量を示しています。数値が大きいくほど汚濁が著しくな
ります。

SS(浮遊物質):環境基準50mg/L以下
粒径2mm以下の水に溶けない懸濁物質の総称で、一般
的に数値が大きいくほど透明度が低下します。

DO(溶存酸素量):環境基準5mg/L以上
水中に溶け込んでいる酸素の量です。魚の生息には少
なくとも5mg/Lの溶存酸素が必要といわれています。

季節毎調査の場所のみ抜粋



水質測定地点

自動車騒音・道路交通振動

道路における騒音・振動については、要請限度()を超過する箇所はありませんでした。

道路種別 ()内はページ 下部の地図上 の場所	測定 地点 数	騒音						振動		
		要請限度 を超えた 地点数	期間区分別内訳		環境基準 を超えた 地点数	期間区分別内訳		要請限度 を超えた 地点数	期間区分別内訳	
			昼間	夜間		昼間	夜間		昼間	夜間
			6～22時	22～6時		6～22時	22～6時		6～22時	22～6時
国道 (1- 2)	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0
県道 (3- 6)	4	0	0	0	1	0	1	0	0	0
市道 (7- 10)	4	0	0	0	3	3	3	0	0	0
合計	10	0	0	0	5	3	5	0	0	0

常時監視局 測定局名	騒音			
	要請限度を超えた月数		環境基準を超えた月数	
	昼間	夜間	昼間	夜間
	6～22時	22～6時	6～22時	22～6時
早瀬局	0/12	0/12	9/12	12/12
美笹局	0/12	0/12	12/12	12/12

：要請限度とは、自動車による騒音及び振動がこの値を超えることにより、周辺的生活環境が著しく損なわれる場合、県の公安委員会等に対して交通規制などの対策を講じるよう要請することができる基準のことです。

(要請限度は本編P.107、環境基準は本編P.110を参照)



自動車騒音・道路交通振動測定地点

ダイオキシン類調査

ダイオキシン類については、全ての調査地点において環境基準を大幅に下回っています。

【大気中】

環境基準 (年平均値0.6(pg-TEQ/m³))

調査地点	年平均 (pg-TEQ/m ³)
戸田市役所 屋上	0.02
美女木小学校 屋上	0.02

【水質中】

環境基準 (年平均値1.0(pg-TEQ/L))

調査地点	測定値 (pg-TEQ/L)
緑川:鬼澤橋	0.13
菖蒲川:川岸橋	0.15
上戸田川:本村橋	0.13
笹目川:富士見橋	0.10
さくら川:早瀬橋	0.11

【土壌中】

環境基準 (年平均値1,000(pg-TEQ/g))

調査地点	計測値 (pg-TEQ/g)
戸田市役所	23
北部公園 (市営球場)	27

空間放射線量

空間放射線量については、全ての測定場所において除染基準(0.23μSv/時)を下回っています。

測定場所	測定値 (μ S v / 時)		
	5cm	50cm	100cm
戸田市役所	0.053	0.055	0.051
荒川水循環センター 上部公園	0.050	0.048	0.047
中町測定局	0.083	0.063	0.057

1年間の平均値となります。

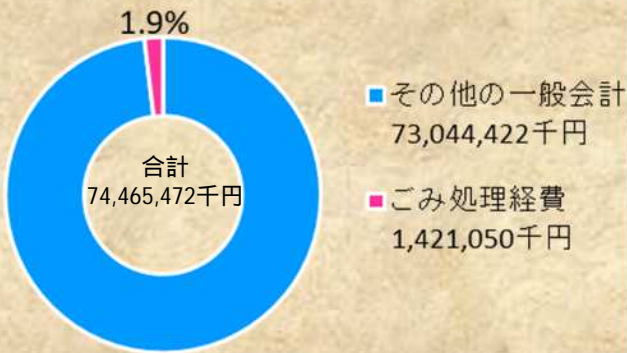
第5部

廃棄物処理の現況

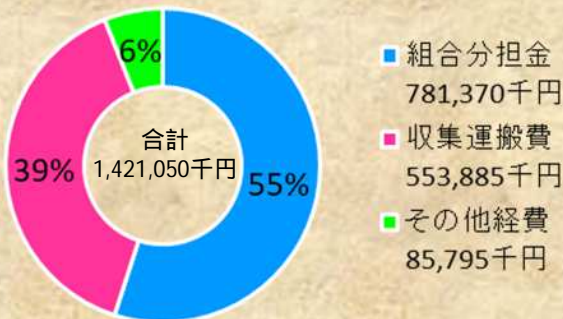
家庭ごみ処理の経緯と処理費用 (本編P.136)

令和2年度にごみ処理にかかった費用は
下記のとおりです。

令和2年度 市の一般会計決算



令和2年度 ごみ処理費用



家庭ごみの排出量 (本編P.23/P.137)

1人1日当たりの家庭ごみ排出量
実績値 (令和2年度)

615g

目標値 (平成27年度)

683g

() 令和2年度の実績値で目標値を達成しているが、今後も引き続き減量できるよう取り組んでいきます。